

平成31年大磯町議会

3月定例会総括質疑（2月22日）

質問議員	質問事項
<p>1 3番 吉川 重雄議員 (40分) 9:05～9:45</p>	<p>平成31年度の施政方針をお聞きして、質問をする。</p> <p>歳入面では、固定資産税の減などにより、前年比約3千万円のマイナスの見込みと言われている中で、借金をいくら増やすのか、トータルの町債残高の合計はいくらになったのか。</p> <p>町長の町政運営は、将来の子ども達にどれだけの借金を付け回していくのか。借金をして自分のやりたいことを進めていくことが、町民目線の町政運営が進められているとは到底思えない。</p> <p>町長が述べた「交流人口の増加」と「定住人口の安定化」に本当に結びつくと思っているのか。断言する、私は結び付かないことを確信している。</p> <p>なぜなのか、町長は町民の声を聞いて来た、聞いて行きますと言われているが、それは言葉だけで、一部の町民の声を聞いただけで、自身の思いを職員を通じて強引に押し進めているのが事実である。</p> <p>例えば、町長が公約で進められた中学校給食は始まってから1年半で、子どもに「No」を突き付けられ失敗したことを認めて明らかである。失敗の原因を検証することなく、失敗の事実を一刻も早く忘れさせようとして、税金約1千万円使って進めてきたことが示している。そのことは、中学生の心に大きな傷を一生癒すことのできないことを植え付けてしまった。</p> <p>また、第七期高齢者福祉・介護保険事業計画に記載されていた事を守ることなく、町にとって福祉施設の要であった「大磯恒道会の破産」は、超高齢化社会を迎える町政に大きな悪影響を与えてしまったとは感じないか。</p> <p>今後、町長に与えられた役務は、身の丈に合った行政運営が求められているとは思わないか。これから進める行政運営を担っていかれる見解を求める。</p>

2

13 番
渡辺 順子議員
(40 分)
9:45~10:25

2019 年度予算案は明治記念大磯邸園事業約 13 億 1,500 万円に伴って一般会計で 15 億 6,200 万円増額の 108 億円強となった。前年度より 16.8%の伸び率である。

1. 明治記念大磯邸園事業

全体事業費約 13 億 1,500 万円の内訳は国庫支出金 5 億 2,600 万円・県支出金 7,890 万円・地方債約 7 億 1,000 万円の大規模事業である。

(1) 町税収入に対する影響は。

(2) 2019 年度の事業内容・滄浪閣も含めた事業全体のスケジュールは。

(3) 国からの交付税措置・県からの支援があるとの説明だったが、いつから何年計画で行われるのか。

2. 幼児教育無償化の内容は

幼児教育無償化の財源に、10 月に予定されている消費税 10%引き上げによる税収が見込まれている。増税による約 5.6 兆円のうち 2 兆円が社会保障の充実に充てられ、幼児教育、保育の無償化が含まれている。

幼児教育すべてが無償化になるよう思われがちだが、2019 年度予算案では社会保障 4 経費その他社会保障施策に要する経費は 30 億 5,266 万円であり、地方消費税交付金は 5,900 万円の増で 5 億 1,900 万円、社会保障財源化分は 2 億 4,900 万円である。

(1) 幼児教育無償化分の経費はいかほどか。

(2) 対象となる世帯は。

(3) 幼児教育はすべて無償になるのか。

(4) 無償化による待機児童の増加や保育の質の低下についての考えは。

3. 基金の使い道は

公共施設整備基金 2,210 万円、財政調整基金 3 億 5,600 万円、子ども基金 449 万 7 千円を取り崩すがその使い道は。

4. 町債充当事業は何か

公債費推計一覧表によれば、町債借入予定額は 13 億 4,180 万円である。明治記念大磯邸園で約 7 億 1,000 万円、大磯港みなとオアシス事業に 1 億 2,000 万円、国府本郷西小磯 1 号線整備事業に 2,220 万円の町債が充当されているが、そのほかは何の事業に充当する予定か。

5. 中学校給食は当初予算に計上されていないが補正対応になるのか。

6. 環境政策についての所見は

私たちが住むこの地球が持続可能な環境でなければ未来は望めない。2019 年度予算案には持続可能な社会の実現に向けた事業や取り組みが見当たらないのは残念である。所見を問う。

<p>3 15番 柴崎 茂議員 (40分) 10:40~11:20</p>	<p>今議会初日、平成31年度予算の提案が行われた。「継続性」「一貫性」「笑顔があふれる町」「安全・安心」などが並んだ。そこで、お尋ねする。</p> <p>1. 明治150年記念大磯邸園の整備に約13億1,500万円(予算全体の12.1%)を計上、そのうち約7億1,000万円を起債に頼るという無謀をやったのけた。さらに、この起債の償還は、県が補填するというが2月14日に初めて聞いたことだ。何か裏付けがある本当のことなのか。</p> <p>2. 昨年11月「大磯町金目川(花水川)洪水浸水想定区域図」が配られた。近年の大雨による土砂災害のことを考えれば、当然、想定図であっても、むしろ遅すぎたとも言える。大磯町はかかる大災害に対する備えとして、平成31年度予算をもって対応していることはあるか。「安全・安心」に生き生きと暮らせる町への取り組みを進めていく」としながら、何の対策も述べられなかったが、何か私の勘違いか。</p>
<p>4 8番 奥津 勝子議員 (40分) 11:20~12:00</p>	<p>「笑顔あふれる町」、誰もが笑顔で暮らせる町の実現に力を注いで行くと述べられた。平成31年度施政方針に対し総括質疑をする。</p> <p>平成31年度の力点として子育て、教育、健康、経済、安全・安心の5項目を挙げられた。</p> <p>これらは交流人口の増加、定住人口の安定化への大きな目標実現に向け、町長の取り組む強い姿勢と考えられる。</p> <p>町では平成31年度、第五次総合計画を策定予定であるが、平成32年度までの第四次総合計画を踏襲し、さらに発展させる計画となることを期待している。そこで伺う。</p> <p>1. 「子育てについて」</p> <p>子育てについては、目指すべき姿として「安心して子どもを産み育てられ、子育てを通じて生活に喜びを実感できている町」、また「家庭、地域、行政が一体となり、社会全体で子どもの幸せを第一に考える環境を形成し支援している町」等とある。</p> <p>平成31年度は妊娠期から子育て期の過程において子育て世代に寄り添い「子育てで選ばれる町」への取り組みを進めるとしている。</p> <p>そこで保健センターに母子保健コーディネーターとして保健師を引き続き配置すること、また、継続事業として利用者から期待される(仮称)東部子育て支援センターの整備事業について伺う。</p> <p>2. 「教育」について</p> <p>教育については、目指すべき姿として「知力、体力、共感力を育む教育が施され、子ども達に確かな学力と心豊かな人間性が備わっている町」、「子どもと教職員がいきいきとしながら学校教育が運営できている町」等とある。</p> <p>平成31年度は、児童、生徒、また教員や保護者に対する教育相談やサポート体制の充実、さらに教員の研修環境の拡充をすすめている。</p>

そこで「大磯町教育研究所」が旧横溝千鶴子邸に移転することから、スクールソーシャルワーカーやスクールアドバイザーによる支援体制の充実も含め、具体策を伺う。

3. 「健康」について

健康については、目指すべき姿として「町民と地域・行政が連携しながら地域全体で健康づくりを推進している町」「充実した地域医療、救急医療体制が提供されている町」とある。

平成31年度において、まさしく継続的な成果が数字的にも出てきた、おあしす24健康おおいぞ事業や特定健康診査と後期高齢者を対象とした健康診査の受診率の更なる向上を目指した医療機関との連携など、生活習慣病の重症化予防などの保健指導の充実を図るための具体策を伺う。

4. 「経済」について

経済については、「経済」の取り組みは「観光」「農業」「漁業」「商工業」といった「産業」が一体となって町に効果をもたらすものを考えていると言われた。

「大磯港賑わい交流施設」の2020年オープンに向けての準備、また、新たに認定農業者への各種助成制度、補助率の引き上げ、林業の自伐型担い手育成への具体策を伺う。

5. 「安全・安心」について

安全・安心については、生まれてから生涯を閉じるまでを総合的に考えた「終活」を支援する仕組みづくりに着手すると言われた。その具体策を伺う。

5

12 番
鈴木 京子議員
(40 分)
13:00~13:40

過去最大とされる 2019 年の当初予算案が上程された。規模を大きくしたのは、明治 150 年関連施策の明治記念大磯邸園事業だが、町民の生活を最優先にした予算案となっているか、以下の点を問う総括質疑を行う。

1. 町長の胸の内には常に「笑顔があふれる町」があり、「すべての世代の方々をしっかりと社会で支えることができる仕組みを実現し、誰もが生き生きと安心して暮らせるまちづくりを進めなければならない」と施政方針で語られたが、下水道料金、国保税を上げたしわ寄せを凌駕する施策は何か。

2. 明治記念大磯邸園の予算規模は 13 億 1,540 万円。起債額は 7 億 1,010 万円だ。国、県からの支援の担保も含めた見通し、固定資産税の減額分も含め、町の負担総額は。また、この規模に旧池田邸は含まれているのか。旧池田邸で町の役割分担の部分は広いが、見通しは。

3. 2019~2020 年度の実施計画書では、計画書の更新のほかはソフト事業の展開がほとんどない。笑顔の子育てまちづくりでは寄付をいただいた土地に建てる「(仮称) 東部子育て支援センター」と「学校図書館連携システム事業」の 2 事業で、6 事業は「該当する事業はない」となっているが、学童保育や放課後、朝の居場所づくりはどう進めるのか。小児医療費助成の拡充はどうか。保育所の待機児童は解消されるか。

4. 一方で、観光による魅力づくりでは 8 事業中認定が 7 事業となっている。観光関連事業の総額は。また、投資を回収できると考えているか。

5. 財政難といいながら、不要不急、町民の同意を得られないマリア道や大磯港の賑わい交流施設、大磯駅前の整備を進めるが、「笑顔があふれる町」づくりは具体的にどのような施策で実現すると考えるのか。

6. 基金の積み立てと取り崩しの総合的な考えは。庁舎建て替えはいずれ直面する課題だが、2019 年度予算ではどうか。財政調整基金の活用はどう考えるか。

7. 事業の実施に必要な業務量を把握したうえでの職員数と配置になるか。資質向上の図り方は。勤務実態に合った給与の支給となるか。

<p>6 10 番 山田 喜一議員 (40 分) 13:40~14:20</p>	<p>過去最大の 2019 年度当初予算案の将来展望を問う。 町長は「町民の皆さんの町政の「継続性」「一貫性」を願う想い と思い、負託をいただいた皆さんの期待に応え、これまでの取り 組みを着実に進めるべく、町政に邁進する所存です。」という決 意のもとに、大磯町 2019 年度当初予算案を提出した。 一般会計 108 億 5,100 万円 (16.8%増)、歳入では法人町民税、 固定資産税などの減少により前年度比 0.6%減の 47 億 8,400 万 円。町債の増加により歳入全体に占める町税の割合は、前年度の 51%から 44.1%になった。 また、明治記念大磯邸園や大磯港みなとオアシスの整備に伴い、 国庫支出金が 6 億円強の増。 不足分の財源は、町債発行や財政調整基金で賄う。町債は 13 億 4,180 万円を発行、財政調整基金は 3 億 5,600 万円を取り崩し て財源不足に充てる。 このような過去最大の予算案をいかに実行していこうとしてい るかを問う。</p>
--	---

6 名 2 2 問

※時間は、事情により変更になる場合がありますのでご了承ください。